

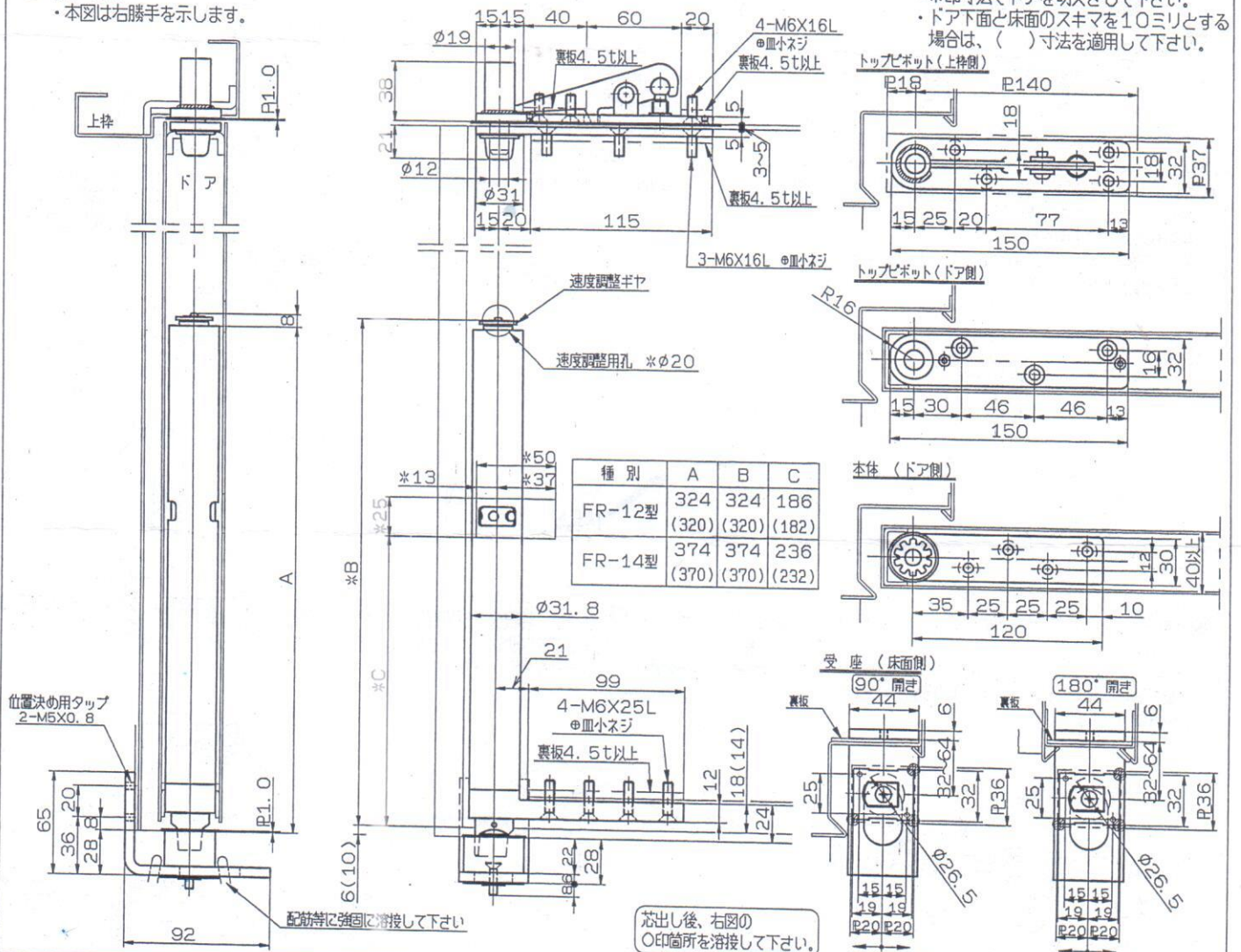
FR-12型 FR-14型

種 別	適用ドア寸法 巾X高さX見込(mm)	適用ドア重量(kg)	ドア開閉様式	適用ドアの種類	
FR-12-R FR-12-L FR-12A-R FR-12A-L	1200X2100X(40以上)	100以下	中心吊一方開 開扉角度180°	スチールドア (防火ドア用)	●ストップなし ●スプリング調整方式 ●左右勝手あり
FR-14-R FR-14-L FR-14A-R FR-14A-L	1400X2100X(40以上)	130以下			



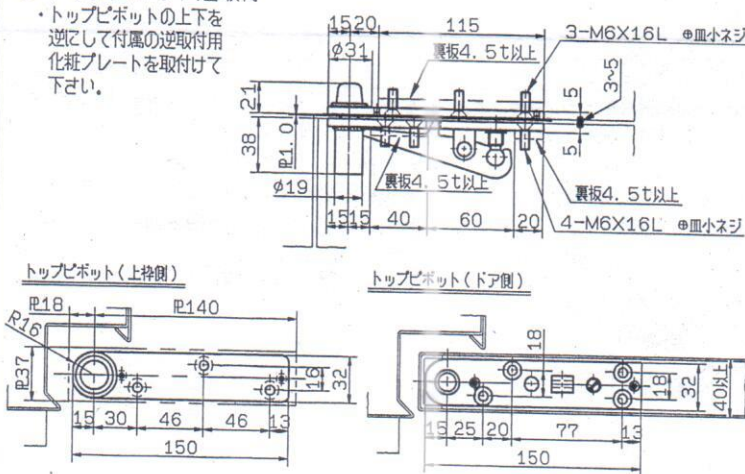
●標準取付

・本図は右勝手を示します。

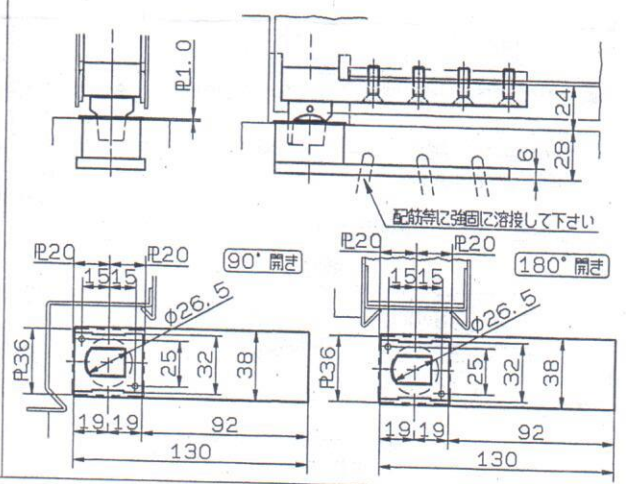


●トップピボット逆取付

・トップピボットの上下を逆にして付属の逆取付用化粧プレートを取付けて下さい。

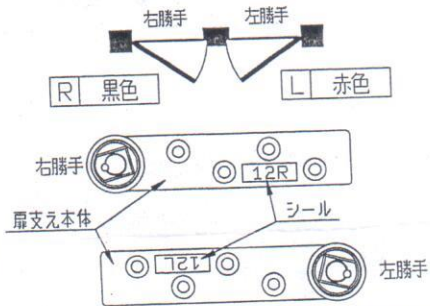


●A型受座



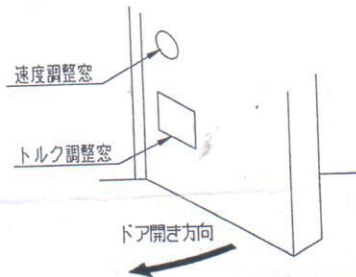
1 ドアの開き勝手の確認

- 左右勝手を貼付シールの色で確認して下さい。



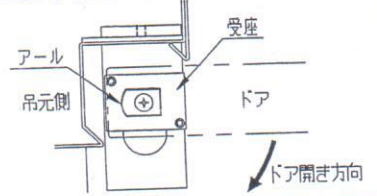
2 調整用窓の切欠き

- 調整用窓はドアの開く側で切欠きして下さい。
- トルク調整・速度調整後、付属の化粧ゴムプレートで切欠き部の目隠しをして下さい。



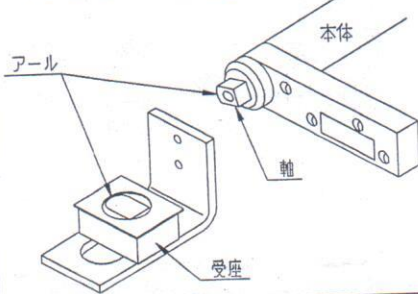
3 受座の取付け

- 受座は必ずドアを閉じた時に溝のアールが吊元側になるようにして下さい。
- 受座とトップピボットが同一鉛直線上になるように受座をスライドさせて芯出しをして下さい。
- 受座はドアを開けた時にドアと平行に、また床と水平に取付けて下さい。



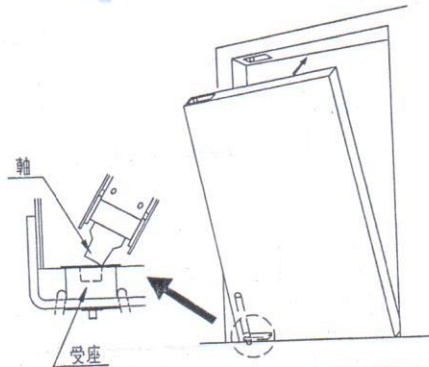
4 ドアの吊込み ①

- 受座のアールと本体の軸のアール方向を確認して下さい。受座と本体の軸のアール方向がずれていると吊込みができません。アール方向がずれている場合は、同一方向になるように軸をまわして合わせて下さい。



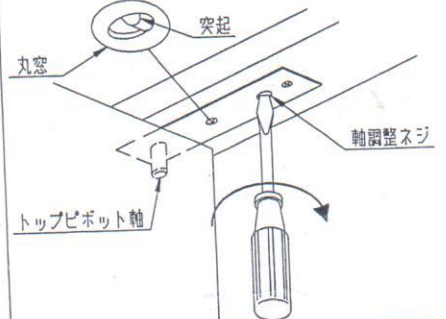
5 ドアの吊込み ②

- 吊込みはドアを斜めにして軸を受座に入れた後、ドアをおこして下さい。



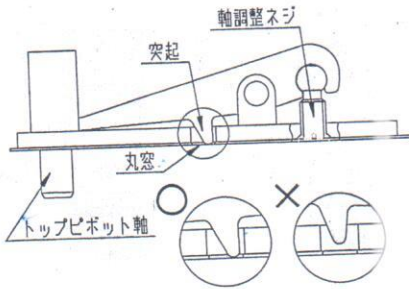
6 ドアの吊込み ③

- 本体の軸が受座に完全に入ったことを確認後、ドアを開いてトップピボット軸をドア側の軸受に合わせ、丸窓に突起がおりてくるまで軸調整ネジを締め付けて下さい。



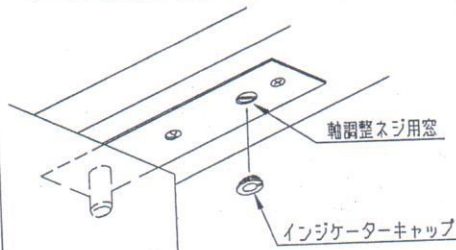
ご注意

- ※ 図のように中央の丸窓に突起がおりていることを確認して下さい。突起が充分におりていない場合、トップピボット軸は完全に出ていませんので、軸調整ネジを更に締め付けて下さい。



7 ドアの吊込み ④

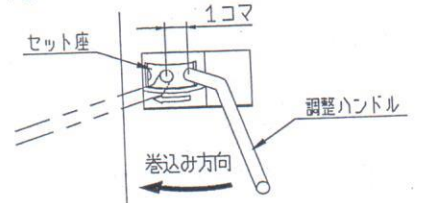
- 軸調整ネジを完全に締め付け後、軸調整ネジ用窓に付属のインジケータキャップをはめ込んで下さい。軸調整ネジの締め付けが不十分な場合、インジケータキャップがはめ込みできません。



- ※ 点検時、インジケータキャップが付いていることを確認することにより軸調整ネジが緩んでいないことを確認できます。

8 スプリングの巻込み方法

- ドアを吊込み後、付属の調整ハンドルでドアの開く方向（本体に矢印で表示）へスプリングを巻込んで下さい。



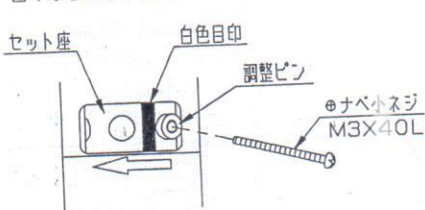
- ※ セット座は8コマで約1回転します。

- ※ 表よりも2コマ以上余分に巻込まないで下さい。

型番	スプリング巻込み量
FR-12型	6コマ
FR-14型	7コマ

9 調整ピンのセット方法

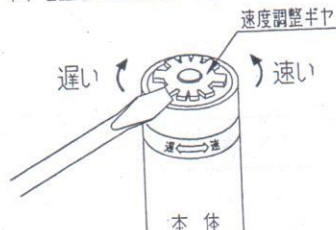
- スプリング巻込み後、調整ピンをセット座に差し込んで下さい。セット座には、調整ピンを差し込む位置に白色の目印がしてあります。



- ※ ナベ小ネジは調整ピンを抜取るときに使用して下さい。

10 閉扉速度調整方法

- スプリング調整後、速度調整窓からマイナスドライバー等を差込み、速度調整ギヤを回して下さい。
 - ・ 右回転（時計方向）：遅くなります。
 - ・ 左回転（反時計方向）：速くなります。
 - ・ ギヤを回す範囲は約±5回転です。



取扱い上のご注意

- オートスイングヒンジの本体は精密加工品ですので、落としたり、強くたたいたりしないで下さい。
- 本体に水、雨等をかけないで下さい。
- 本体を溶接で取付けないで下さい。
- オートスイングヒンジを閉鎖速度より速く押さないで下さい。また、基準の開き角度以上に開かないで下さい。

ヒンジクローザ取扱説明書

お願い

1. 取付けをされる業者の皆様へ

本書は必ず御施主様、御入居者様または管理者様へお渡しください。

2. 御施主様・御入居者様・管理者様へ

当社商品をお買い上げいただきありがとうございます。

商品を正しくご使用いただくために、この「ヒンジクローザ取扱説明書」をよくお読みください。

いつでもお読みになれるように大切に保管してください。

1. ヒンジクローザの機能説明とお願い

- この商品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化や窓などの開閉によって、誘発される屋内の気圧の変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがありますのでご注意願います。ドアの閉じる速度は、速度調整弁によりコントロールすることができますので、裏面に記載した方法で調整してください。また、閉じかけているドアを閉じる方向に強く押したり引いたりしないでください。強制的な閉扉操作はヒンジクローザ本体内部の油が漏れたりして、閉扉速度が調整不能となる原因になります。
- ヒンジクローザ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに施工業者または当社に修理、交換依頼をしてください。放置しておくと、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- ヒンジクローザ本体の分解、改造または速度調整弁を必要以上に回転操作しないでください。中の部品や油が飛び出して思わぬけがをしたり、衣服やドア、床などを汚すおそれがあります。
- ヒンジクローザは、一定角度以上開かない構造になっています。破損防止のため、ドアを限度以上無理に開かないでください。

2. お手入れ方法

- ヒンジクローザの取付ネジに緩みが生じていないか時々点検してください。緩んでいた場合はネジを締め直してください。
- 腐食予防のためにヒンジクローザの見えがかり部分は時々掃除をしてください。また結露が生じた場合は乾いた布で拭いてください。

3. 異常を感じられた際の対処方法（調整が難しい場合は、施工業者または当社にお問い合わせください）

現 象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	開扉速度の調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ヒンジクローザ本体	施工業者または当社に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが悪い	速度調整弁	開扉速度の調整方法を参照願います
閉じる際「ボタン」と大きな音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	油漏れ	ヒンジクローザ本体	施工業者または当社に修理依頼願います
ドアが所定の開放停止位置で止まらなくなった（ストップ付き）	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音が生じるようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください

リョービ株式会社

平成13年 8月 制定
平成14年10月 改訂

札幌 062-0937 札幌市豊平区平岸7条14-3-48 ☎(011)811-8232
仙台 983-0034 仙台市宮城野区扇町4-2-38 ☎(022)237-6201
東京 114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎(03)3927-5533
富山 939-8214 富山市黒崎23-2 ☎(076)493-2225

名古屋 468-0034 名古屋市中区久方1-145-1 ☎(052)807-1643
大阪 569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎(072)685-1113
広島 736-0082 広島市安芸区船越南3-7-29 ☎(082)823-0028
福岡 811-2305 福岡県糟屋郡粕屋町柚須107-1 ☎(092)623-5000

ヒンジクローザ取扱説明書

取付けをされる業者の皆様へ

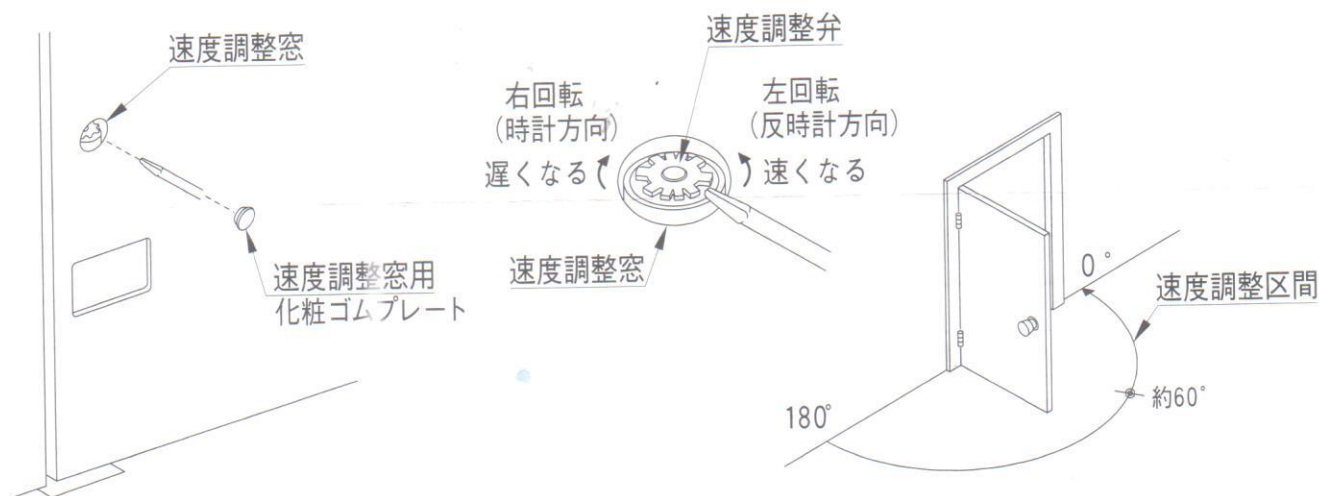
本書は必ず御施主様、御入居者様または管理者様へお渡しください。
取付に関しては別紙（取付説明書）を参照してください。

ドア閉じ速度（スピード）調整方法

速度調整窓の化粧ゴムプレートを取り外し、速度調整窓からマイナスドライバーを差し込み、速度調整弁を回して下さい。

右（時計方向）に回すと閉じ速度は遅くなります。

左（反時計方向）に回すと閉じ速度は速くなります。



ヒンジクローザ商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店様、工務店様、販売店様または最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

保証期間

施工者よりの引き渡し日（注1）（注2）から2年間。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証内容

取扱説明書またはその他の記載事項に基づく適正な状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。
ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理になります。

- ① 施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
- ② 商品の性能または適用範囲（ドアの重量、サイズ、開閉回数など）を超えたドアの使用または超えた場所に取り付けられたことに起因する不具合
- ③ 窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
- ④ 建築躯体の変形などに起因する不具合
- ⑤ 結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
- ⑥ 商品または部品の経年変化（使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、磨耗など）や経年劣化（使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など）またはこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合
- ⑦ 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑧ 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など）に起因する不具合
- ⑨ 引き渡し後のドアの操作誤り、ヒンジクローザの調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩ お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑪ 犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合

* 保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

* 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。